



4.6\_ 庁舎前で行われた「マグロの解体ショー」。  
に大勢の人が列を作った 5\_福祉センターでは  
「福祉ふれあいフェア2010」が同時開催された  
8.9\_大勢の家族連れでにぎわった作品展



2.3\_まつまえ町の児童による「南中ソーランヨサコイ」や  
まさきのイメージキャラクターマッキーとおたさんの披露、  
風船飛ばしなど、華やかに行われたオープニング



1.9.10.12\_松前総合文化センターで行われた芸能  
発表会には、45団体、総勢569人が参加。美しい  
歌声、鮮やかな舞などで観客を魅了した

## 第35回まさき文化祭

—2010 育てよう 文化の息吹—

恒例となったまさき文化祭は10月30日と31日の両日、松前総合文化センターを主会場に開催されました。期間中は▼芸能発表会▼作品展示会▼まつまえ・まさき姉妹都市交流物産展▼各種バザー▼こども作品展などが行われ、大勢の人が芸術の祭典を楽しみました。

初日、午前10時。会場には威勢のよい湧水太鼓の客寄せ太鼓の音が鳴り響きます。いよいよ文化祭の幕開け。会場の雰囲気が高まります。

程なくして庁舎前の特設ステージで始まったオープニングセレモニーでは、小池ムツ美教育委員長による開式宣言に続き、白石勝也町長が「ふれあいの文化の輪を広げましょう」とあいさつ。今年はまつまえ・まさき姉妹都市提携20周年を記念して、前田一男まつまえ町長をはじめ、まつまえの児童12人が来町。子どもたちは勇壮な「南中ソーランヨサコイ」を披露してくれました。セレモニー後は、各会場で続々とイベントが始まりました。

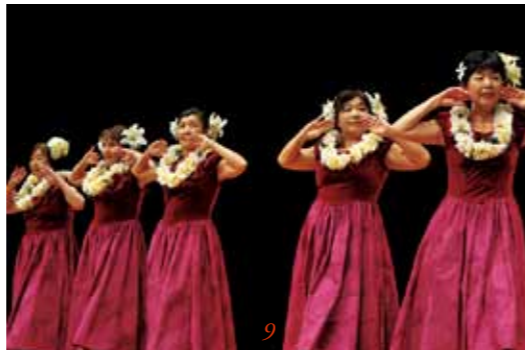
文化センター広域学習ホールで行われた芸能発表会のトップを飾ったのは義農太

鼓。息の合った威勢の良いバチさばきが会場を魅了しました。伊予万歳や日本舞踊、コーラス、フラダンスなど、町内で活躍するさまざまな団体による発表の数々が、2日間会場を沸かし続けました。

文化センター各フロアで行われた作品展示会には、愛好家による絵画や手工芸など2229点の作品が集結。個性あふれる作品の数々は訪れた人の心を揺さぶりました。

庁舎前特設ステージでは▼神戸大モダン・ドンチキによるチンドン屋パフォーマンス▼マグロの解体ショー▼獅子舞競演会など、多彩なイベントが行われ祭りを彩りました。また、特設ステージ周辺にずらりと並んだテントでは、まつまえ町の特産品のほか、地元の特産品や手作りの食品などが販売され、2日間とも朝早くから大勢の人でにぎわいました。

まさき文化祭。演技を披露した人、作品を展示した人、舞台裏で支えた人、祭りに参加した人など、「2010育てよう 文化の息吹」をテーマに交わされた人と人との交流は、まさきの文化の輪を大きく広げました。



11\_文化センターにはお茶席も登場。子どもから大人まで幅広い世代の人に楽しまれた

